

課の経営戦略シート

作成日	平成22年4月1日
部署	学校教育課
作成者	並木 進

課 名	学校教育課	課長氏名	並木 進	班の数	2
-----	-------	------	------	-----	---

1. 課を取り巻く環境と求められる方向性

課を取り巻く環境と求められる方向性	・児童生徒数の学力向上と、地域住民の意見を取り入れた「特色ある学校づくり」がますます求められている。 ・学校や学校教育を取り巻く環境は、子どもの居場所作りの場や地域づくりの場としての活用が求められており、学校の存在意義が教育を行う場から地域コミュニティー育成の場、家庭教育や社会教育の領域まで含む複合的なものへと変化して来ている。 ・児童生徒数の減少に伴い、児童生徒にとってどのような教育や教育環境が最も望ましいものであるかという視点、教育の機会均等・教育諸条件の公平性を確保する観点、更には地域コミュニティーへの影響などを勘案し、小中学校の現状と長期展望を踏まえ、学校適正配置について検討をしなければならない。 ・教育においては子ども一人ひとりの個性や発達に応じた指導方法への転換が求められており、今後、子どもたちに要求される国際化、情報化の時代の潮流の中、情報化社会における基礎となるべきものを児童・生徒に教育の格差が生じないよう、身につけるように努めなければならない。 ・食中毒の防止を徹底し、安全で安心な学校給食の提供に努めなければならない。 ・食育は、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎であると規定し、知育、徳育、及び体育の基礎となるべきものと位置づけるなど、子どもに対する食育を重視している。
-------------------	---

2. 課の展望、目標、使命

課の展望 課が目指す町民生活や地域社会の姿	・次代を担う子どもたちに将来の夢や希望を育むため、一人ひとりの子どもに基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつけさせるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、個に応じたきめ細かな指導を実施することにより自ら学ぶ意欲と学び方を身につけた心豊かでたくましい子どもちの育成を目指している。 ・安全で安心な学校給食を安定的に供給し、健康でたくましい児童生徒の育成を目指す。				
課の目標 課の展望を数値で具体化したもの。 H22年度末の達成目標	指 標	H21 目標値	(H21)実 績見込値	H22 目標値	備 考 (指標の説明、目標値の根拠、データ取得方法 等)
	学校評議員の設置	8校	8校	8校	学校評議員の意見により特色ある学校づくりを推進する。
	個に応じた授業改善支援の学校配置人数	3人	3人	4人	学校補助教・特別支援教育補助員の配置
	児童生徒教員の定期健康診断の実施	100.0%	100.0%	100%	健康面で安心して学校生活が送れる。
	栄町学力向上プランの策定	なし	なし	策定	スーパーバイザーを招聘し、学力向上プランを策定する。
	学校図書館司書の配置人数	0人	0人	4人	学校図書館司書の配置
	学校規模適正化検討委員会の設置	なし	なし	設置	学校規模の適正化を図るための基本方針を策定する。
	児童生徒の給食を食べた量	90%	87%	90%	供給量に対する残菜の量から算出
課の使命 上記展望を実現するために、課が果たすべき役割	・創意と活力のある教育活動の中で、基礎基本の確実な定着と個性を生かすきめ細かな学校教育を推進するため、新しい時代に対応した学校教育の推進と、児童生徒が安心して学び育つ環境の整備を行う。 ・安全で安心な学校給食を提供し、食に関する指導の充実を図る。				

3. 課の経営方針

課の経営方針 (平成22年度)	・創意と活力のある教育活動の中で児童生徒の学力向上を目指し、基礎基本の習得及び活用能力の育成と個性を生かすきめ細かな学校教育を推進する。 ・栄町としての望ましい学校教育のあり方、学校の適正化・適正規模に関する基本的な考え方をまとめる。 ・もって、新しい時代に対応した学校教育の推進と、児童生徒が安心して学び育つ環境の整備を行う。 ・衛生管理の徹底により食中毒の防止を図り、安全で安心な給食を安定的に提供する。 ・給食だより、献立表などを通して食と栄養に関する正しい理解を養っていく。
--------------------	---

4. 施策の優先度

班 名	施 策 名	特性分類	成果の 方向性	資源投入の方向性			優先度
				事業費	人員	地域資源	
学務指導班	特色ある学校づくりの支援	B	↑	→	↑	↑	B
学務指導班	きめ細かな学校教育の推進	A	↑	↑	↑	↑	A
学務指導班	学習環境の整備・充実	A	↑	↑	→	↑	A
学務指導班	児童福祉の充実	A	→	→	→	→	B
学務指導班	教育施策の総合的な推進 (仮称 学校規模の適正化事業)	A	↑	↑	↑	↑	A
給食班	学校給食の充実	A	→	→	→	↑	B

5. 平成21年度の課の経営方針及び取り組み結果

NO	平成21年度取り組み	平成21年度取り組み結果
1	きめ細かな教育を行うために学校補助教員等を継続して配置する。	学校補助教員等により個に応じた指導が展開され、言語活動の活性化等学習効果が図られた。
2	衛生管理の徹底による安全・安心な学校給食を提供する。	学校給食で異物混入が1件あり、危機管理を徹底し安全・安心な学校給食の提供に努める。